

第47回伊勢湾オープンヨットレース大会クルーザーの部で、レース運営に不慣れな実行委員会における不明確な運営があったことについて、主催者である(一財)伊勢湾海洋スポーツセンターの事務局からお詫びいたします。

令和6年10月6日(日)に開催した第47回伊勢湾オープンヨットレース大会のクルーザーの部の運営において、回航マーク付近に錨泊していた本部艇ではない運営艇がコース短縮を意味するS旗を一時展開していました。帆走指示書10. コース短縮には「マークとS旗を展開した本部艇をフィニッシュラインとし……」と記載されており、S旗を掲げた運営艇を本部艇と誤認させる事態となりました。運営艇は昨年よりもコースが短くなる場所に回航マークを設置したため、コースを短縮したとの認識を持ってコース短縮に展開するS旗を展開しました。

伊勢湾オープンヨットレース大会は、昭和52年に第1回大会が開催され、当時から運営は実行委員会形式にて実施しておりました。実行委員は三重県ヨット連盟、三重県オーシャンレーシングクラブ(MORC)及び財団から人材を得て、ディンギーの部のレースは三重県ヨット連盟が、クルーザーの部のレースはMORCが、会計及び参加申し込み等の事務的なところを財団が実施していましたが、諸事情によりクルーザーの部の運営が困難になったため、クルーザーの部の運営を財団が行なうことで継続してきました。長年継続してきた大会運営に慣れが生じレース知識が不足する人材での運営となったことが今回の原因となりました。

今後事前勉強会を開催するなどの改善に努めます。

(一財)伊勢湾海洋スポーツセンター  
事務局長 宇仁田 裕史